東北で活躍するサプライヤー

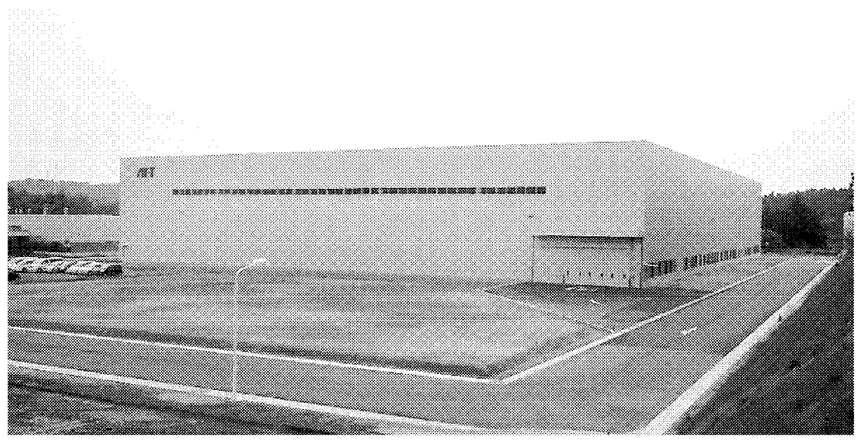
現地供給体制を整備
小型・軽量化技術に磨き

トヨタ自動車東日本の発足で、トヨタグループにおける東北地域の重要度は一層増す。このため愛知県に主力拠点のあるトヨタ系部品メーカーは、相次いで東北で工場を新設するなど現地供給体制を整備している。一方、トヨタ東日本は東北での部品調達を拡大する方針を打ち出しており、地元メーカーにとっても取引拡大や新規参入の好機。品質、コスト、供給量と、いずれのハードルも高い受注を獲得するため、地元メーカーの奮闘は続く。

デンソーは子会社のデンソー東日本（福島県田村市）でカーエアコン工場が稼働した。同工場は東日本大震災復興に貢献した工場として注目された。というのも2011年5月に稼働する予定を延期し、被災して生産停止した藤倉ゴム工業に一時的に工場を貸与したからだ。藤倉ゴムの復旧後、デンソー東日本はエアコンの生産を開始した。

アイシン精機は子会社のアイシン東北（岩手県金ケ崎町）が第2工場を建設、11年6月に稼働した。投資額は約8億円。トヨタ東日本岩手工場（同）で生産する小型ハイブリッド車（HV）「アクア」向けのマニュアルシートアジャスターや同本社工場（宮城県大衡村）で生産する小型車「カローラ」向けドアフレームを供給する。

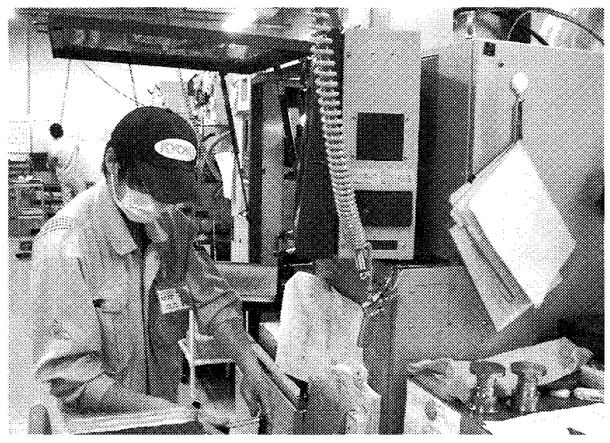
アイシングループのアイシン高丘（愛知県豊田市）も、宮城県大衡村の既存のブレーキ部品工場敷地内に約40億円を投じて鋳造工場を建設、7月中に量産を始める。従来は愛知県から鋳造品を送り、既存工場で機械加工していた。7月からは鋳造工程から現地化し、コスト低減と供給量増に対応する。


アイシン高丘の新鋳造工場

トヨタ紡織は子会社のトヨタ紡織東北（岩手県北上市）が宮城県大衡村にシート工場を新設、11年初に稼働した。トヨタ東日本本社工場に、シートを供給する。豊田鉄工（愛知県豊田市）も宮城県登米市に車体プレス部品の工場を建設した。同社にとって東北で初めての生産拠点だ。

東北への進出を検討するサプライヤーも多い。シロキ工業は現在、東北向けに、愛知県や神奈川県の工場からシート部品を送っている。ただシート部品は輸送時にかさばるため、遠方から送っていると効率が悪い。そのため「遅くても12年度中には進出するかどうか結論を出す」（松井拓夫社長）方針だ。

中央発條も「東北への工場進出をどうするか具体的に考える」（高橋徳行社長）としている。同社は従来より投資額を2分の1から4分の1に抑えられるコンパクトなバネ生産ラインを開発。新ラインによって、これまで慎重だった東北進出を本格的に検討できるようになった。


東北の地元メーカーはトヨタに売り込みをかける

取引の拡大に意欲
地元メーカーも奮闘

トヨタ東日本で将来にわたり小型車の生産を続けるには、コスト競争力を含む商品力の向上が必要だ。部品メーカーはこうした動きに対応し、小型・軽量化技術を磨いている。

豊田合成は、同社従来品比20%軽量化したドア枠用シーリング部品「オープニングトリムウェザストリップ」を開発、アクアなどに採用された。樹脂材料の発泡化や金属部品の薄肉化によって、1本800㌘―1000㌘の同部品を軽量化した。同社はほかの車体シーリング部品でも同様の発泡技術の採用などによって軽量化に成功している。

デンソーは同社従来品比30%小型化したカーエアコン用コンデンサーを開発した。性能を維持しつつ製品幅を薄くした。小型化によって同コンデンサーが配置されるエンジンルームの設計自由度が高まる。新型カローラに搭載された。

トヨタ紡織も小型車向け送風機能付き運転席シートをトヨタ、デンソーと共同開発、新型カローラに採用された。送風機能付きシートは高級車や中型車には搭載されているが小型車への採用は初。送風機の配置を最適化し小型車用の厚みのないシートでも送風機能を付加できた。

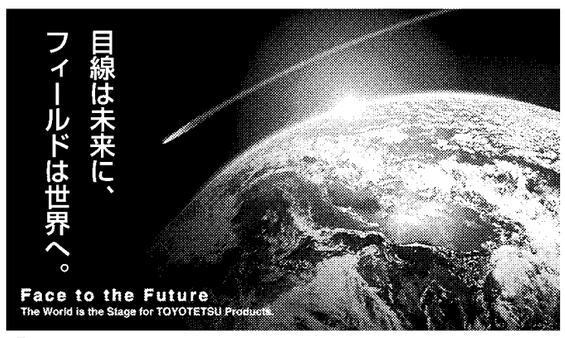
トヨタ紡織の小型車用送風機能付シート

トヨタ東日本は東北での部品調達率を現状の4割程度から8割に拡大し、地元メーカーからの調達も積極化する方針だ。この方針に、東北の中小企業からは歓迎の声が上がっている。アルミダイカスト部品メーカーでトヨタグループとの取引がある岩機ダイカスト工業（宮城県山元町）は「ますます自動車産業が盛んになる」と喜ぶ。

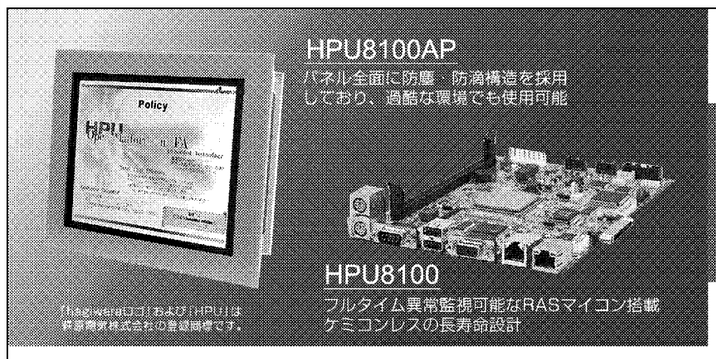
もともと東北はエレクトロニクス関連産業が集積する地域。高い電子関連技術や樹脂加工技術などを生かして、自動車の電装品や内装品などに新規参入しようと売り込みを積極化している。

ただトヨタやトヨタグループから新規受注するのは容易ではない。品質やコスト、生産量が高い壁となって立ちはだかる。宮城県内のある精密部品メーカーは「要求された品質やコストを実現するには大規模な設備投資が必要。モデルチェンジ時に取引を切られる不安もある。どうしても及び腰になってしまう」と本音を漏らす。

そうした中、他社との連携で技術や生産能力の補完を模索する動きも出てきている。東北に真の自動車産業集積を実現するため、地元メーカーのこれからの奮闘が注目される。

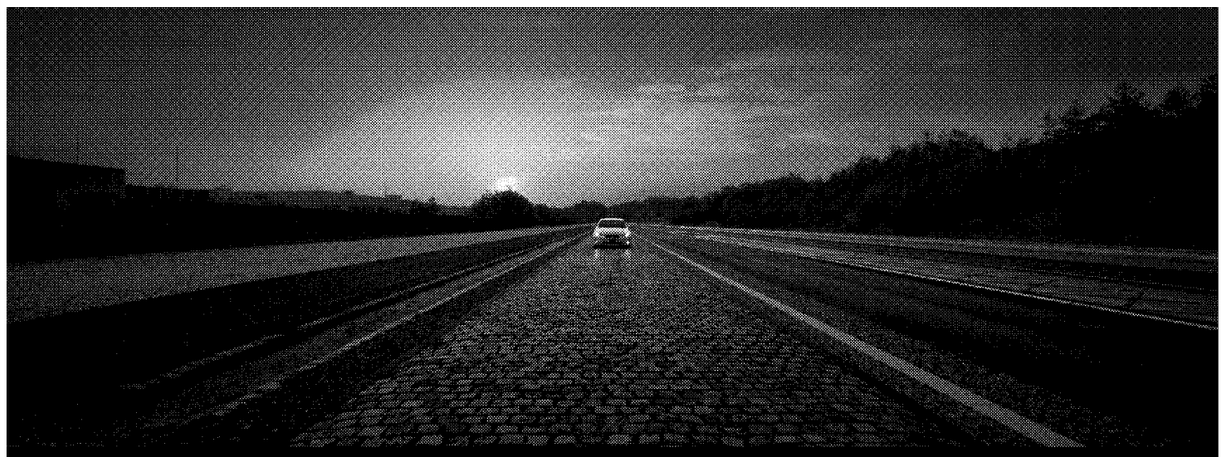


豊田鉄工株式会社　〒471-8507 豊田市細谷町4-50 TEL.0565-26-1212（代）
URL http://www.tiw.co.jp



HAGIWARA
小型・高信頼マザーボード、産業用高信頼コントローラ
HPU8100シリーズ
萩原電気株式会社
事業内容
●電子デバイスの販売および開発サービス
●IT機器の販売および
システムインテグレーション
●電子・情報プロダクツの開発・製造・販売
本　社　〒461-8520 名古屋市東区東桜二丁目3番3号
TEL.052-931-3511 FAX.052-931-9414
http://www.hagiwara.co.jp/
産業コンピュータ.com
http://www.sangyo-hec.com/

TOKAI RIKA
触れた瞬間、クルマとの対話が始まる。
感動をかたちに
株式会社 東海理化
〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
Tel.(0587)95-5211 Fax.(0587)95-1917
www.tokai-rika.co.jp/


世界の道で、乗る人の「うれしさ」を
学び続ける。
そのクルマは、ヨーロッパの石畳を走るかもしれない。
そのクルマは、灼熱の砂漠を走るかもしれない。
そのクルマは、極寒の凍結路を走るかもしれない。
アイシン精機、特殊試験路。ここには世界のあらゆる道がある。
どんな環境でも満足してもらえる一台のために、このテストコースで
コンピュータで究めた製品を、さらに、乗る人の気持ちになって鍛えあげていく。
すべては、クルマの部品やシステムの開発段階から、
乗る人の“うれしさ”を学び、求められているものをカタチにするために。
AISIN
One Team, Best Future
アイシン精機株式会社　〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地　www.aisin.co.jp

地球にもっと優しいクルマは、できないだろうか。環境に負荷をかけないクルマは、創れないだろうか。
デンソーは、インバータをはじめ最先端の技術で、ハイブリッドカー、電気自動車の性能向上に貢献してゆきます。
私たちのこの一歩が、地球にとって、きっと大きな一歩になると信じて…
地球がずっと輝くために、
クルマがずっと愛されるために。
ハイブリッドカーの進化。
そこに、デンソーの最新技術。
ハイブリッドカーの重要な部品のひとつであるインバータ。
クルマの走行状態に合わせて電流をコントロールし、
モータの回転数とトルクを制御します。
デンソーは、最新の技術を注ぎこみ、その小型化と高出力化を両立。
環境性能と走行性能を向上させました。
デンソーの技術は、あなたと一緒に未来の地球を走り続けます。
ハイブリッド用インバータ
クルマがずっと愛されるために
DENSO
www.denso.co.jp